

## 平成22年度観音寺護持会会計報告

収入の部		
項目	金額	備考
前年度繰越金	3,728,376	前年度からの繰越金
助成金	25,000	日秀区より助成金
会費	703,100	檀信徒からの護持会費
雑収入	0	
預金利子当	969	利息 JA貯金
計	4,457,445	

支出の部		
項目	金額	備考
宗費賦課金	333,658	宗務庁、宗務所への宗費宗務費、護持会費等
営繕修理費	0	震災修復費用は未支出
火災保険掛金	363,754	本堂火災保険（庫裏分は寺会計より支出）
計	697,412	

収入済額計	4,457,445	<b>護持会・宗務費について</b>
支出済額計	697,412	
収支差引額	3,760,033	
<b>差し引き額は次年度へ繰越</b>		

護持会宗務費でいただいた費用は、曹洞宗宗門および観音寺の護持と宗風の宣揚に資するものです。「寺院の建築物、施設の営繕」「寺院賦課金の支弁」「法要・行事の資金の支弁」「寺族の福祉保護・子弟の育英」「檀信徒研修会への参加補助」など、住職の宗教活動を側面から強気にバックアップするものです。現在はもとより、未来の子々孫々に至るまで、檀信徒様のご先祖と観音寺を守るため、ご協力いただいております。

### 【後記】

- ▼震災による原発事故から節電が呼びかけられ、各地でその取り組みが行われています。照明を落としたり、エアコンを控えたり、ビルや商店の看板、広告塔などもライトダウンをしています。コンビニやホームセンターなど最初は戸惑いましたが、これでも充分と思えるようになってきました。
- ▼お釈迦様は最後の説法で「知足」を示されました。「足ることを知る」精神です。皆がこの精神でこれからも節電に努め、電力供給の減少に寄与し、電力のみならずエネルギーの節約を進めていったら、地球そのものの浄化にも繋がるのではないのでしょうか。
- ▼観音寺の庫裏の屋根も瓦が崩れたままの状態です。瓦屋さんには催促するものの、材料が入らないし、先客がまだまだおられるらしい。もう少し辛抱です。
- ▼薬師堂改築は現在見積中です。お堂は小さくても材料と職人手間で、かなり費用はかさみそうですね。う〜ん。

# 観音寺報

施食会号・平成23年8月17日発行

我孫子市日秀90 慈愍山観音寺  
住職 安本正道  
04-7188-2244

<http://www.kannon-ji.net/>

## 回向（えこう）とは

回向は廻向とも書きますが、これは梵語のパリナーマを訳した言葉で、回転趣向を略して回向と言うのです。

自分自身が仏道を勤行する功德を回らし転じて、生者死者を問わず、あらゆる人へ趣き向けることを言います。

お経の終わりに

「願わくは此の功德を以て普（あま）ねく一切に及ぼし、我等と衆生と皆共に仏道を成ぜんことを」

とお唱えしますが、これを回向文と言います。

「此の功德」というのは、仏様にお供えをし、お経を読む功德であり、「普ねく一切に及ぼし」というのは、ただ自分の家の聖霊に回向するだけでなく、一切の有縁無縁の生ける者と死せる者、さらにすべての生き物たちに

功德が及ぶようにということです。

また「我等と衆生と」の衆生とは、おおくの生を経て生きているもの、すなわち、生きているものすべてを指すのです。

仏教が慈悲の宗教であるというのは、この回向という言葉ひとつを取ってもよく分かります。善きことを自分のことだけにしないで、全ての人に普ねく回らし向け、その善きことが世界の隅々にまで及ぶようにと願うこと、それが回向であり、仏教の慈悲の心のあらわれにほかなりません。



### 追弔御和讃

その名を呼べば きたえてし  
笑顔の聲は ありありと  
今なお耳に あるものを  
おもいは胸に せき上げて  
とどむるすべを いかせん  
溢るるものは 涙のみ  
立ちては昇り のぼりては  
哀しく薫ゆる 香の香に  
かずかず浮かぶ 思い出よ  
供えし花は そのままに  
霊位の座をば つつむなり  
清きが上に 清かれと  
一世の命 いただきて  
会うことかたき 勝縁をば  
夢幻と などかいう  
うつつの形は 消ゆるとも  
うつろうものか 合わす掌に  
契りて深き 真心は

為 東日本震災

物故者諸精霊供養

## 3. 1 1 大震災・・・

3月11日（金）に発生した東北地方の太平洋沖巨大地震（東北地方太平洋沖地震）は、未曾有の被害をもたらしました。被災の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、不明の方々の無事発見を願うと共に、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。



地震で崩れた本堂前の燈籠

当日、私は市役所勤務でした。地震直後から被災者や帰宅難民のお世話に追われ、家族との連絡もままならない状態でした。市役所では即座に避難者への部屋、毛布、食事の提供など、特に福島原発がらみの避難者の方には泊り込みでの対応となりました。

避難所等では、多くのボランティアの方々とのふれあいがあり、被災地に眼を向ければ国境、国交をこえて地球規模での助け合い支え合いがありました。あらためて人類みな兄弟と認識をしました。

一日も早い復興と、安心して暮らせる日が来るよう。自宅で家族揃って過せる日が来るようお願い、みんなで援助協力していきたいと思っております。



- ・庫裏の屋根瓦の四方が崩れました。
- ・お檀家様の墓地でも燈籠などが崩れました。
- ・市内都地区では液状化により家屋の倒壊や電柱が倒れる甚大な被害がありました。

## 寿陵のおすすめ

生前にお墓を建立することを「寿陵」（じゅりょう）といいます。寿陵＝生前墓は、古くから「長寿」「子孫繁栄」「家内円満」の3つの果報を招くとされてきました。

中国では古来より、生前にお墓を建てることは長寿を授かる縁起の良いこととされ、古書にも「寿蔵」「寿穴」「寿堂」などと書かれており、秦の始皇帝をはじめ、歴代の皇帝は皆寿陵墓を建てています。

お寺にしろ霊園にしろ、お墓（墓地）をお求めになる7割以上は仏様（お亡くなりになった方）のない方です。墓地を求め、同時に墓石を建立される方は少ないのですが、お身内の方がどなたかお亡くなりになってからでは実は遅いのです。よく「生きているうちに墓を建てるとよくないことがおきる」という人がいますが、何の根拠もない迷信です。逆に経典に説かれるほどすばらしい行いなので、生前にお墓を建てたとしても不吉なことなど何一つありません。尊くも功德のある「寿陵」を是非とも生前にこそ、ご建立頂きますようご案内申し上げます。

### 《寿陵墓のメリット》

誰か身内が亡くなった時、「すぐにお墓を・・・」といっても、墓地の立地環境や交通の便などを考えていると意外に時間が掛かるものです。

また、満足のいく墓地（墓石）を見つけることは、そう簡単なことではありません。実際お墓を建てるにしても、石材の加工や工事期間を考えれば最低でも1ヶ月以上はかかってしまいます。

その意味で寿陵を建てておけば、いざというときでも「安心」です。まず何よりも後に残った家族への負担を軽減する事が出来るからです。

さらに、お墓は課税の対象にはなりませんので、相続の際に相続税はかかりませんし、不動産取得税・固定資産税などもかかりません。親が寿陵墓を造っておけば、相続の時に墓地代は除外することができるのです。お墓だけではなく仏壇や礼拝物などは、高価なものでも税はかからないので、節税対策としてのメリッ



トがあります。お墓の場合、相続財産とは違い「祭祀財産」とみなされるので相続税、不動産税、固定資産税などいっさい課税されません。唯一の課税は墓石購入時の消費税ぐらいです。例えばある人が5000万の財産があり1000万のお墓を建てるとすると、生前であれば墓石代の消費税+4000万の相続税ですが、死後ですと墓石代の消費税+5000万の相続税となりますので、生前にお墓を建てたほうが節税になるのです。

お墓なんて、まだいいよ  
子供が建ててくれるだろうし...  
でも、自分が死んだとき、  
自分はどんな墓に入るのだろう...